

池上二良教授のご退職にあたって

札幌大学女子短期大学部部長

小 澤 清

池上二良先生は、大正9年長野県松本市にてご誕生、松本中学校、松本高等学校文科を経て、東京帝国大学文学部言語学科をご卒業、その後、同大学文学部副手、大学院特別研究生を経て、昭和26年4月、群馬大学助教授ご就任、昭和39年より北海道大学文学部教授となられ、言語学講座担任、並びに大学院文学研究科担当となる。北海道大学ご在任中、同大学文学部附属北方文化研究施設長を8年にわたって併任されるとともに、同大学評議員の要職を務められた。学外では、昭和61年、北海道文化財保護審議会委員、昭和63年より3年間、日本学術会議東洋学術研究連絡委員会委員などに応嘱され、国内外にわたって目覚ましい活躍をなされた。昭和59年3月、北海道大学を定年退官、同時に同大学名誉教授に補せられた。先生は我国北東アジア諸民族言語研究における指導的立場に立たれ、別掲のごとくその業績は国際的評価も高く、洵に輝かしいものである。

先生を開設間もない札幌大学女子短期大学部文化学科にお迎えしたのは昭和59年4月であるが、爾来7年間、謹厳で真摯な学究の徒である先生には、ヨーロッパ各国の図書館を調査研究に訪れる等、ご専門の北東アジア民族研究を意欲的に進められる傍ら、柔らかな弾力のある思考による、若い未熟な学生の指導に献身的に力を尽くされた。その他、先生から、若い本学の組織、制度又、図書館の整備などにつき、様々な貴重なお教示を頂きましたことに深く感謝の意を表したいと思います。

ここに、先生の今後のご研究の進展とご健康をお祈りし、送別の言葉と致します。